



---

---

労働政策研究報告書 No. 188

2017

JILPT : The Japan Institute for Labour Policy and Training

---

---

---

壮年非正規雇用労働者の仕事と生活に関する研究  
— 正社員転換を中心として —

労働政策研究・研修機構

# 壮年非正規雇用労働者の仕事と生活に関する研究

## — 正社員転換を中心として —

独立行政法人 労働政策研究・研修機構  
The Japan Institute for Labour Policy and Training

## ま え が き

いわゆるバブル経済崩壊後、若年の非正規雇用労働者の増加が問題視されているが、2000年代に入ると、もはや若年とは呼べない、「壮年」と呼ぶべき年齢層の非正規雇用労働者も増加するようになった。

そのような背景のもと、労働政策研究・研修機構（JILPT）では、2012年度より「壮年非正規労働者の働き方と意識に関する研究」に取り組んできた。同研究では、彼ら壮年非正規雇用労働者の仕事と生活の実態、壮年期に非正規雇用労働をするに至る経緯、そこからキャリアアップしていくための条件を探るべく、2012年に個人ヒアリング調査を、2013年に全国アンケート調査を、2015年にモニターアンケート調査を実施してきた。

それらの結果から、壮年非正規雇用労働者は、若年期には正社員として働いていた経験を持つ場合が多いこと、男性・無配偶女性にあっては若年非正規雇用労働者よりも不本意な理由から非正規雇用を選択している場合が多いこと、自らが家計の担い手である場合が多いにもかかわらず、正社員とは異なり若年期から壮年期にかけて職務が高度化せず賃金・年収も上がりにくいことから、若年非正規雇用労働者よりも貧困に陥りやすく、生活に対する不満も強いことなどが明らかになった。

本報告書は、一連の研究の最後の報告書であり、主としてモニターアンケート調査の集計・分析により、壮年非正規雇用労働者が正社員に転換するための条件を明らかにすることを試みている。これまでヒアリング調査、アンケート調査にご協力くださった皆様に、この場を借りて改めて御礼を申し上げる。

本報告書が、政策担当者の参考となるとともに、人々が自身の希望に沿った職業キャリア、働き方を実現するための一助となれば幸いである。

2017年3月

独立行政法人 労働政策研究・研修機構  
理事長 菅野 和夫

執筆担当者（執筆順）

氏名	所属	執筆箇所
高橋 康二 <small>たかはし こうじ</small>	労働政策研究・研修機構 副主任研究員	序章、第1・2・4章、終章
福井 康貴 <small>ふくい やすたか</small>	東京大学高齢社会総合研究機構 特任助教	第3章
森山 智彦 <small>もりやま ともひこ</small>	下関市立大学経済学部 特任教員	第5章
黒川すみれ <small>くろかわ</small>	労働政策研究・研修機構 臨時研究協力員	第6章、資料1

※全体の編集は、高橋康二が担当した。

プロジェクト研究サブテーマ「正規・非正規の多様な働き方に関する調査研究」  
「壮年非正規労働者の働き方と意識に関する研究」研究会メンバー（※五十音順）

（2017年3月末時点）

浅尾 裕 <small>あさお ゆたか</small>	労働政策研究・研修機構 特任研究員
池田 心豪 <small>いけだ しんごう</small>	労働政策研究・研修機構 主任研究員
小野 晶子 <small>おの あきこ</small>	労働政策研究・研修機構 主任研究員
黒川すみれ <small>くろかわ</small>	労働政策研究・研修機構 臨時研究協力員／ お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科博士後期課程
高橋 康二 <small>たかはし こうじ</small>	労働政策研究・研修機構 副主任研究員
田原 孝明 <small>たはら たかあき</small>	労働政策研究・研修機構 統括研究員
福井 康貴 <small>ふくい やすたか</small>	東京大学高齢社会総合研究機構 特任助教
森山 智彦 <small>もりやま ともひこ</small>	下関市立大学経済学部 特任教員
李 青雅 <small>り せいが</small>	労働政策研究・研修機構 アシスタント・フェロー

# 目次

まえがき

執筆担当者

目次

## <第1部 分析編>

序章 課題と概要	3
第1節 問題関心	3
第2節 調査研究の全体像と本報告書の課題	10
第3節 使用データ	13
第4節 本報告書の概要	15
第1章 正社員転換の発生要因とパターン	23
第1節 はじめに	23
第2節 年齢が正社員転換の発生に与える影響（全国アンケート調査より）	24
第3節 30歳以降の正社員転換の行動・経験レベルでの発生要因	25
第4節 正社員転換のパターン	33
第5節 職業資格取得のための勉強を経た正社員転換	40
第6節 おわりに	42
第2章 内部登用と外部転換はどう違うのか	46
第1節 はじめに	46
第2節 データと変数	48
第3節 内部登用・外部転換を経験しやすいのは誰か	49
第4節 内部登用・外部転換の発生場面	53
第5節 正社員転換後の働き方、正社員転換前後での働き方の変化	55
第6節 自由回答から	57
第7節 おわりに	59
第3章 非正規雇用労働者の入職経路と転職結果	
—正規転換、賃金、仕事満足度—	61
第1節 問題意識	61
第2節 先行研究と問い	61
第3節 データ、モデル、変数	62

第4節	分析	69
第5節	まとめ	75
<b>第4章</b>	<b>不本意非正規雇用労働者の正社員転換</b>	<b>78</b>
第1節	はじめに	78
第2節	5年前の就業実態	81
第3節	正社員転換の要因	85
第4節	正社員転換の経路	88
第5節	正社員転換後の働き方と意識	90
第6節	おわりに	93
<b>第5章</b>	<b>男性の正規転換が結婚、子どもの有無、生活満足に与える影響</b>	<b>96</b>
第1節	研究目的	96
第2節	方法	98
第3節	正規転換年齢と収入、貯蓄、借金の関係（クロス集計）	102
第4節	男性の正規転換が結婚、子どもの有無、生活満足度に及ぼす影響	105
第5節	まとめ、考察	114
<b>第6章</b>	<b>正社員から非正社員への転換—正社員時の職場環境に着目して—</b>	<b>117</b>
第1節	はじめに	117
第2節	データと変数	119
第3節	分析	120
第4節	非正社員転換の要因の特徴と対策	126
第5節	非正社員転換の要因が多く見られる職場	127
第6節	小括	128
<b>終章</b>	<b>インプリケーション</b>	<b>131</b>
<b>&lt;第Ⅱ部 資料編&gt;</b>		
資料1	付属統計表—壮年非正規の就業履歴、初期キャリアのその後の影響—	139
資料2	「職業キャリアと働き方に関するアンケート」調査票	199
資料3	「5年前と現在の仕事と生活に関するアンケート」調査票	229